



知っておきたい用語

雪（ゆき）

空からふってくる氷の結晶。
結晶の形は40種類以上あり、
雪が作られる上空の気温・湿度
などによって形が変わる。

氷（こおり）

固体になった水。水は0℃で氷
になる。ほとんどの物質は温度
が下がると小さくなるが、水は
固体（氷）になると大きくなる。

雪氷（せつぴょう）

雪と氷。また、雪からできた
氷のこと。

雪と氷の現象を研究する学問
を雪氷学という。

陸でできた氷

氷河（ひょうが）

陸地をおおい、低い方に流れる氷のかたまり。
ヒマラヤやアルプスなど山岳地域では、谷に
できる。南極・グリーンランドでは、氷床の
中で特に流れの早い部分を言う。

氷床（ひょうしょう）

大陸規模の広大な地表をおおう氷河（氷のかた
まり）。南極大陸とグリーンランドにある。
南極の氷床の厚さは平均1,856mで、一番厚い
ところは4,776mにも達する。

冰山（ひょうざん）

氷河や氷床の氷が海におし出されて割れた氷の
かたまりで、水面上の高さが5mを超えるもの。
海にただよっているが、海氷とは異なる。
水面上には約10%出ているだけで、大部分は
水面下にある。

棚氷（たなごおり）

氷床はゆっくり海に向かって移動しており、やがて
海岸から海に押し出された氷は、平らで大きな棚氷
となる。南極氷床の面積の約11%がこの棚氷で占
められている。

海でできた氷

海氷（かいひょう）

海の水がこおってできた氷。
海面がおよそマイナス2℃に冷やされるとでき始め、
小さなものが集まり大きく成長していく。何年もか
けて厚さ4~5mに達する。季節によって変化する。

流氷（りゅうひょう）

海面をただよう海氷。

定着氷（ていちゃくひょう）

何年にもわたって厚くなり、動かなくなった海氷。

氷には、
いろいろな種類が
あるんだね。



【冰山】



【北極の海氷】